

研 究 論 集

第 十 五 卷

前 卷 目 次

第 1 4 卷

源氏物語における「常陸」について―風土的考察―	森本 茂	148	右から
昭和四十一年度音楽学フィールドワーク報告	小野 功 竜	138	一三
ダンテ神曲解説序説	石倉 小三郎	1	左から
老年学 (Gerontology) の源流 (1)	橘 覚 勝	13	
大都市中学校教官の指摘する 非行に関する統計的研究 (2)	荒井 貞 雄 永田 千 恵 子	25	
音楽大学生のヴィジョン―傾向性の調査―	酒 井 醇	43	
大阪を中心とした生鮮食品最近の出 廻り状況と食経済についての一考察	塩 野 緑 子 村上 裕 子 山口 志 子 水嶋 志 子	71	
炭化水素資性化菌による 変敗油の利用に関する研究	小 嶋 国 彦 玉 置 ミヨ 子	83	
アメリカの服飾教育 ―カリキュラムに表われた特性について―	神 田 美 年 子	91	
Musikwissenschaftliches Institut & Hochschule für Musik について ―ザールブリッッケンの場合―	馬 淵 卯 三 郎	107	
書 評 西丸四方著 「島崎藤村の秘密」	中 野 恵 海	132	右から
計 報		130	
彙 報		129	

一般教育・教職関係 (学部、短大共通)

学会発表

岡 邦 俊 教授

日本宗教学会第二十六回大会(昭和四十二年十月二十一日、竜谷大学)に発表

演題「根本悪としての原罪と無明」

日本印度学仏教学会(昭和四十二年六月十一日、立正大学)に発表

演題「浄土教における問題」

海辺 忠 治 教授

日本宗教学会第二十六回大会(昭和四十二年十月二十二日、竜谷大学)に発表

演題「宗教的現実と歴史的現実」

橘 覚 勝 教授

日本老年学会第五回総会(昭和四十二年十月三十一日、名古屋大学)に特別講演

演題「老年学の源流」

日本老年社会科学会第九回総会(昭和四十二年十一月一日、名古屋大学)に発表

演題「老化の心理学的本質」

特別報告「第四回国際高齢者会議に出席して」

永田 千恵子 助手

関西教育学会第二十回大会(昭和四十二年十一月十九日、関西学院大学)に発表

演題「中学校教員の指摘する非行生徒の補導に関する統計的研究」

外遊

橘 覚 勝 教授

昭和四十二年九月十六日 オーストリー国グラーツで開催の第四回国際高齢者

会議に出席のため羽田発、会議後欧州各国、印度を視察し、十月九日帰朝

外遊

大 橋 博 助教授

昭和四十二年八月十四日 欧州諸国の音楽専門教育の実状視察のため羽田発、

パリのコンセルセバトワール、モスクワの国立音楽院など見学、特にポーランドで

は同国文化芸術省の照会により、ワルシャワの音楽教育機関(国立音楽小学校、

国立バレエ小学校、国立高等音楽院、ワルシャワ地区教育指導センター等)を視

察し、十月日帰朝。

佐 藤 允 彦 講師

ポーランド国立シヨパン研究所の招聘研究員として、昭和四十二年九月八日よ

り同十一月十九日まで、上記研究所に滞在、研究テーマは「マズルカについて」

十一月下旬帰朝。

卒業論文・卒業演奏

○昭和四十一年度(音楽学専攻)卒業論文題目

稲田 壽子 古今組の旋律形態の分析について

滝 房子 音楽と悲劇の関連について

北本 綾子 Chopinの Ballade について

小森 文子 我国音楽専門教育に関する考察

近藤美乃留 学習 Figure

——その実習作品と理論的、歴史的アナリゼ——

高谷 洋子 雅楽曲の分析(筆策の旋律型を中心として)

辻野 徳子 小学校における音楽教育の問題点

——教員養成制度をめぐって——

辻橋 佳子 和歌山県の民謡について

西沢 里代 八残月(手事物の旋律形態分析)

小野 和恵 人間教育の基礎としての芸術教育への一考察

——シラー、リードの思想を中心として——

△音楽学専攻▽研究生修了論文題目

- 久保田敏子 野川流三味線組歌
 小泉 景子 ラフマニノフのプレリュードに於けるショパンの影響に關して
 芝 佳子 パレストリーナのミサについて
 西島 恵子 真言声明
 道淨 節子 ベートーベンのロマン性について

昭和四十一年度卒業試験とその演奏曲目

音楽専攻卒業演奏

- (氏名) (作曲者) (曲 目)
 有賀せつ子 中田 喜直・火の鳥
 今瀬美沙子 自作 秋吉・悲 歌 (上巻下巻)
 Puccini・ Senza mamma, o bimbo, tu sei morto! (Suor Angelica)
 大野 祥子 山田 耕筈・鐘が鳴り出す
 Beethoven・ Lied aus der Ferne
 尾上 洋子 石橋真礼生・ふゆかぜの
 Verdi・ Ritorna vincitor (Aida)
 奥野 和子 信時 潔・丹 沢 (沙 羅)
 Puccini・ Sola perduta, abbandonata (Manon Lescau)
 片山 淑子 信時 潔・行々子 (沙羅)
 M. Persico・ I. Paranzelle 2.Orlano(カン)の歌)
 川西 豊子 信時 潔・丹 沢 (沙 羅)
 Verdi・ Morro, ma prima in grazia (Un ballo in Maschera)
 酒井田美子 団 伊玖磨・藤の花 (抒情歌)
 Smetana・ Marenkas Aria (Die verkaufte Braut)

- 四野喜久子 諸井 三郎・少 年
 F. Cilea・ Io son l'unile ancella
 竹下能婦子 平井康三郎・五 月
 Mozart・ Deh per questo stan te solo (La clemenza di Tito)
 経澤 綾子 石橋真礼生・ふゆかぜの
 F. Poulenc・ I. Air Romantique 2. Air Grave 3. Air VII
 中島田良子 山田 耕筈・野 花
 Donizetti・ Il dolce suono (Lucia di Lammermor)
 野上 陽子 自作 秋吉・悲 歌 (上巻下巻)
 Wolf・ Verborgenheit
 野村 京子 山田 耕筈・病める薔薇
 Verdi・ Canzone del salce (Otello)
 早田 順子 諸井 三郎・少 年
 Bellini・ Romanze di Giulietta (Romeo)
 羽根 洋子 信時 潔・丹 沢 (沙 羅)
 Brahms・ An die Nachtigall
 藤野比佐子 諸井 三郎・少 年
 Puccini・ "Un bel di vedremo" (Mudama Butterfly)
 佛坂 洋子 中田 喜直・輝
 Verdi・ O don fatale (Don Carlos)
 松坂 洋子 石渡日出夫・ 鷺 湖
 Respighi・ Sopra un' aria antica (Quattro Liriche)
 森永勝良子 自作 秋吉・悲 歌 (上巻下巻)
 Puccini・ Donde lieta" (La Bohème)
 山口 孝子 小松 耕輔・砂丘の上
 J. S. Bach・ Ein feste Burg ist unser Gott.
 米田 育子 山田 耕筈・曼珠沙華 (あふあふ)
 Verdi・ Ah! forisè lui (La Traviata)

八野 佳子 信時 潔・行々子 (女 難)
Brahms・Die Mainacht

ソノノ専攻卒業演奏録

(氏名)	(Chopin)	(Bach)	(作曲者)	(曲名)
秋山 文子	Etude op. 25 No. 2 No. 6	W. K. (I) Beethoven	Zwölf Variationen	
浅原 玲子	op. 10 No. 5 No. 12	" (I) Chopin	Variations Brillantes op. 12	
池辺 香代	op. 25 No. 2 No. 6	" (I) Beethoven	Sonate op. 78	
岡 美知代	op. 10 No. 7 No. 6	" (I) Beethoven	Sonate op. 90	
奥山 知子	op. 10 No. 3 No. 15	" (I) Chopin	Fantasia op. 49	
金丘 悦子	op. 25 No. 11 No. 21	" (I) Ravel	Ondine	
木村 治子	op. 25 No. 12 No. 12	" (I) Prokofieff	Sonate No. 3	
後藤美代子	op. 25 No. 9 No. 6	" (I) Dvořák	詩情の古く城、 睡り、	
坂上 明美	op. 10 No. 5 No. 7	" (I) Franck	Praeludium, Choral und Fuge	
治村佳代子	op. 10 No. 5 No. 15	" (I) Bach-Liszt	Praeludium und Fuge für Orgel Von J. S. Bach	
中川 佼子	op. 10 No. 5 No. 15	" (I) Schumann	Sonate op. 22	
中嶋智佳子	op. 10 No. 9 No. 15	" (I) Ibert	物語 金の鳥使 小のロバ 機織の 下で	
野尻 馨	op. 10 No. 8 No. 12	" (I) Chonin	Fantasia op. 49	
灰佐 洋子	op. 25 No. 1 No. 15	" (I) Brahms	Ballade op. 118 No. 3	

兼 録

法眼 礼子	Etude op. 10 No. 5 No. 2	W. K. (I) Debussy	Children's Corner I' II' VI
村上加代子	" op. 25 No. 2 No. 7	" (I) Debussy	12 Préludes. 1 ^{er} Livre I' II' III' IV'
山縣 淑子	op. 25 No. 12 No. 12	" (I) Brahms	Rhapsodie op. 119 No. 4
横谷 圭子	" op. 25 No. 2 No. 19	" (I) Chopin	Polonaise op. 26 No. 2
高木 絃子	op. 25 No. 1 No. 6	" (I) Tschakowsky	Thème et Variations

専・兼専攻卒業演奏録

(氏名)	(演奏曲目)
大橋 好子 ウナイオリン	Vieuxtemps Violin Konzert Nr. 4
細溪 穂子	Lalo Symphonie Espagnole
増田 明子	Dvořák Violin Konzert op. 53
三谷 千穂	Beethoven Violin Konzert op. 61
櫻本 佳子 フルート	Hindemith Sonate für Flöte und Klavier.

昭和四十一年専攻卒業演奏録

(氏名)	(演奏曲目)
木村 治子	Sonata op. 28 No. 3 Prokofieff
森永勝良子	ソナタ ソプラノ (1) 悲歌 (2) Donde lieta (La Bohème) Puccini 伴奏 奥川 和子(在学生) 著作 秋吉
奥山 知子	ピアノ Fantasia op. 49 f moll Chopin

(四十一' 三十一' 三十三' 四級難曲)

早田 項子	ソプラノ	伴奏	坂上 明美
(1) 少年		諸井 三郎
(2) <i>Romance der Giulietta (Romeo von Bellini)</i> Bellini			
ヴァイオリン	伴奏	千葉 翠(在學生)	
<i>Symphony Espagnole</i>			Lalo
ピアニ			
<i>Praeludium, Choral und Fuge</i>			Franck
ソプラノ	伴奏	木村 治子	
(1) 野 花		山田 耕筈
(2) <i>Il dolce suono (Lucia di Lammermoor)</i> Donizetti			
ピアノ			
<i>Fantasia op. 49 f. moll</i>			Chopin
メソソプラノ	伴奏	奥川 和子	
(1) 鹹 湖		石渡日出夫
(2) <i>Sopra un'aria antica (Quattro Liriche)</i> Respighi			
ヴァイオリン	伴奏	野尻 翠	
<i>Violin Concerto D dur</i>			Beethoven
ソプラノ	伴奏	坂上 明美	
(1) 曼珠沙華		山田 耕筈
(2) <i>Ahi fors' è lui (La Traviata)</i>			Verdi
ピアノ			
<i>Etude op. 25 No. 11</i>			Chopin

昭和四十二年度開講科目・講義題目(音楽学部)

〔一般教育科目〕

宗 教	岡 邦俊教授	宗教の理解(宗教概説)
〃	松永 大覚教授	親鸞聖人の思想と信仰(真宗概説)
〃	〃	歎異抄
〃	岡 邦俊教授	同 右(統 講)
哲 学	海辺 忠治教授	

〔外国語科目〕

英 語	(1) 小谷 泰造講師	田中重太郎教授	ヘブライズの潮流を中心として
〃	(2) 同 右	木場 集蔵講師	法学概論・日本国憲法
〃	(3) 小谷 泰造講師	山野 正二講師	経済学概論
〃	(4) 同 右	河村 宜介講師	化学・物理
〃	(5) 久納 慶一講師	塙 雅寿教授	生物学
独 語	(1) 齊藤美美子講師	中村 治講師	生物学
〃	(2) 同 右	大屋 拳吾教授	生活科学
〃	(3) 同 右		
〃	(4) 久納 慶一講師		
〃	(5) 同 右		
仏 語	(1) 木村 恵子講師		
〃	(2) 同 右		
伊 語	(1) 池田 廉講師		
〃	(2) 同 右		

〔保健体育科目〕

体 育	長野 孝男講師	
〃	同 右	
体 育	富田 朋介教授	(体育史概論及各論)
〃	同 右	
体 育	富田 朋介教授	
〃	同 右	

〔専門教育科目〕

(実技の個人レッスン関係科目を除く)

音楽理論	大橋博	助教	音楽通論	
〃	大橋博	助教	和声学(1)	作曲、音楽学専攻者を除く
〃	山田光生	講師		
〃	辻井英世	〃		
〃	同右	〃		
〃	仲芳樹	教授	楽式論(2)	同右
管弦楽法	池内友次郎	講師		
東洋日本音楽史	小野功竜	講師		必修
西洋音楽史(1)	酒井醇	助教		同右(前期)
〃	馬淵卯三郎	助教		同右(後期)
〃	佐藤允彦	講師		同(酒井馬淵)
西洋音楽史(2)	馬淵卯三郎	助教		
〃(特講)	佐藤允彦	講師	音楽の歴史(含鍵盤音楽)	同右
音楽美学	酒井醇	助教	音楽美学概説	同右
宗教音楽論	小野功竜	講師	四回生宗教音楽論(小野)	同右
音楽心理学	梅本堯夫	講師	一回生聖歌(品川)	同右
比較音楽学	岸辺成雄	講師	比較音楽入門	MCと合併
音楽音響学	北村音彦	講師		MMCと合併
楽器論	池内友次郎	講師		MMCは二回生
演奏解釈	齊藤秀雄	講師		
〃	徳丸聡子	講師		
指揮法	東儀祐二	助教		教員免許取得希望は必修
合唱	齊藤秀雄	講師		必修
合奏(1)	東儀祐二	助教		弦管生は必修
〃	品川三郎	講師	器楽合奏	教員免許取得希望者は必修

ソルフェージュ 宮越精三郎 教授他
伴奏法 伊奈和子 講師
コルユープンゲン、新曲、視唱、聴音 必修
声楽専攻生は必修
ピアノ専攻生は必修

教育職員免許状取得希望者は下記の専門科目について単位を取得するものとする。(必修)

〔教職専門科目〕

教育心理学	橘覚勝	教授	
青年心理学	同	教授	
教育原理	秦博	教授	
教科教育法	品川三郎	講師	
道徳教育の研究	秦博	教授	
教育実習	同	同	講義の外別に実習期間を含む

〔教科専門科目〕

ソルフェージュ			専門科目で履修
声楽(合唱を含む)			同
器楽(合奏(2)を含む)			同
指揮法			同
音楽理論及音楽史			同

〔MC専攻関係科目〕

音楽学	酒井醇	助教	音楽学概説
〃	小野功竜	講師	日本・東洋音楽史概説 全学年共通
〃	馬淵卯三郎	助教	西洋音楽史概説(但し前期のみ佐藤講師)
〃	岸辺成雄	講師	比較音楽学概説 集中(MC以外と合併)
〃	梅本堯夫	講師	音楽心理学概説 集中(〃)
〃	平野健次	講師	日本・東洋音楽史 特殊講義

短大國文科關係

著書・論文

今小路 覚瑞 学長・三谷 幸子 高校教諭

編著「校本讃岐典待日記」

(昭和四十二年十二月二十日刊 初音書房)

森本 茂 講師

論文「伊勢物語初段の『をいつきて』の解」

(「平安文学研究」第三十八輯)

論文「伊勢物語『筒井つの段』の構成―伝承性を中心に―」

(「論究日本文学」第三十一号)

中野 恵 海 助教

編著「新選近代文学―明治編―」

(田中重太郎氏監修・昭和四十二年六月刊 初音書房)

柿谷 雄 三 講師

論文「清少納言伝説」(「国文学」第十二卷 七号 六月号)

「枕草子重要参考文献解題」(田中重太郎教授と共同執筆) (岸上慎二博士編) (「枕草子必携」の中) 昭和四十二年十月 学燈社)

国文科文学遺跡めぐり

国文学では、定例の文学遺跡めぐりを次のようにおこなった。

日時……十月二十六日(木) 午前九時～午後五時半

方面……飛鳥地方(藤原宮・甘樫丘・石舞台など)

一、二年の学生三五八名と付添教官八名が、七台のバスに分乗し、まず藤原宮旧址を見学、鴨公小学校で昼食、休憩の後、田中重太郎教授より「飛鳥地方と文学」について講義、その後、石舞台から甘樫丘に向かう。岡の上から飛鳥地方を鳥瞰し、飛鳥寺で休憩して一路帰阪。

国文科能楽鑑賞会

定例の能楽鑑賞会を、十二月六日(水) 午後一時三十分から四時まで、大槻能

〔古楽実習〕

音楽学	小野 功竜 講師	雅楽
〃	小野 功竜 講師	〃
〃	喜田 賦 講師	パロック・アンサンブル
〃	喜田 賦 講師	〃
〃	菊原 初子 講師	地唄、箏曲
〃	菊原 初子 講師	〃

〔音楽理論関係科目〕

音楽理論	大橋 博 助教	対位法 (1)
〃	大橋 博 助教	和声 (2)

〔注〕MC専攻の各講義は特に指示されたものを除き(原則として)他専攻のものを受講できない。

楽堂でおこなった。はじめに、田中重太郎教と泉嘉夫師との解説があり、つづいて(仕舞雲林院・放下僧)、狂言(宗論)、能(船弁慶)が演じられた。ユーモアと諷刺のきいた宗論と演劇的要素の濃い船弁慶はなかなかの好評であった。一年一七一名、二年九六名計二六七名の学生と付添教官五名が参加。

文学講座

相愛学園同窓会国文科主催ではじめたもの。数こそ多いといえないが熱心な聴講者があり、時には高・中国語科教官や、在学生の参加もあった。昭和四十二年の内容その他は次の通り。

・第一回 十月二十四日(火) 後二時—四時

塩田 良平 講師

樋口一葉について

・第二回 十一月十一日(土)

田中 重太郎 教授

枕 冊子

・第三回 十二月九日(土)

森本 茂 講師

伊勢物語の筒井筒の段の話

・第四回 十二月十六日(土)

中野 恵海 助教授

藤村「破戒論」

・第五回 一月二十日(土)

柿谷 雄三 講師

源氏物語について

——「ゆめのうきはし」を読む——

小原 国彦 助教授・玉置 ミヨ子 助手

日本家政学会昭和四十二年度総会(十月七日)

演題 「炭化水素質化性菌の食用油脂に対する挙動」第二報(醤油あぶらに対する挙動について)

要約 醤油製造時副産物として得られる醤油あぶらは、多量生産されるにも拘らず未だその食用的研究はなされていない。演者等は、これに大阪周辺の土から分離した炭化水素質化性菌を用いて、この油を唯一の炭素源とする培地に移植したところ、著明な増殖を見、醤油あぶらを優秀な蛋白質源として利用できることの可能性を見出した。

日本栄養改善学会昭和四十二年度総会(十一月十八日)

演題 「醤油あぶらの性状に関する一考察」

要約 醤油製造工程中に生成される醤油あぶらは、長い熟成期間中、各種の変化を受けて、特有の性状を呈している。これをペーパークロマトグラフィ、ハクソウクロマトグラフィ、ガスクロマトグラフィによって分析した結果、著明な質的变化が見受けられ、これが炭化水素質化性菌の生育にも影響を及ぼしている。

短大家政科(被服専攻) 関係

論文

山本 登美子 助教授

「雨の日のおしゃれ」月刊誌 衣生活 昭和四十二年六月号掲載

昭和四十二年度開講科目・講義題目(短大)

国文科

(一) 一般教育科目)

宗 教 仏教概論

〃 仏教学概説(二年)

岡 邦俊 教授

〃 松 永 大 覚 〃

学会発表表

短大家政科(食物専攻) 関係

宗 教 教 數 異 鈔 (二年)

哲 学 哲 学 概 説 (二年)

〃 哲 学 思 想 史 (二年)

音 楽 合 唱 の 歴 史

〃 実 技

歴 史 文 明 の 構 造 A・トインビーによる

経 済 学 一 般 理 論 と 経 済 思 想

法 学 法 規 範 及 び 規 範 一 般 の 成 立 過 程

生 活 科 学

〃 生 物 学 概 論

〔外国語科目〕

英 語 シェイクスピア名作 会話

〔保健体育科目〕

体 育 講 義

体 育 実 技

〔専門教育科目〕

文 学 概 論

国 文 学 概 論

国 文 学 史 上 代 から 近 世 まで (二年)

〃 近 代 (二年)

国 文 学 講 読

〃 万 葉 集

〃 枕 冊 子

〃 源 氏 物 語

〃 日 記 文 学

〃 平 家 物 語

〃 西 鶴

〃 俳 文 学

〃 近 代 文 学

国 文 学 演 習 古 今 集

〃 方 丈 記

国 文 学 特 殊 講 義 伊 勢 物 語

国 語 学 概 論

国 語 史

国 語 表 現 法

国 語 学 演 習 文 法

漢 文 学 史 六 朝 の 小 説

〃 漢 文 講 読 詩 文 精 粹 講 読

言 語 学 言 語 学 概 説

〔教職専門科目〕

教 育 原 理

教 育 心 理 学

教 科 教 育 法 (国 語)

教 育 実 習

道 徳 教 育 の 研 究

家 政 科

〔一般教育科目〕

宗 教 仏 教 概 説 (二年)

〃 教 數 異 鈔 (二年)

哲 学 哲 学 概 説 (二年)

〃 哲 学 思 想 史 (二年)

文 学 枕 冊 子

〃 近 代 文 学

音 楽 合 唱 の 歴 史

社 会 学 実 技

経 済 学 一 般 理 論 と 経 済 思 想

森 本 茂 講 師

草 部 了 円

森 本 茂

鈴 木 一 男

井 之 口 有 一

鈴 木 一 男

池 田 一 男

寛 久 美 子

平 秀 道

南 部 松 雄

中 井 玄 英

秦 博 教 授

橘 覚 勝

田 中 重 太 郎

秦 博

秦 博

岡 邦 俊 教 授

松 永 大 覚

海 辺 忠 治

海 辺 忠 治

柿 谷 雄 三 講 師

中 野 恵 海 助 教 授

仲 野 芳 樹 教 授

品 川 三 郎 講 師

稻 岡 順 雄 講 師

河 村 宣 介 講 師

被服学	繊維材料、組織、染色の一般及び被服商品について	濱崎 弥市 教授
被服学	被服地の性能と選定	白取 吉敏 助教授
被服学	織物と編物、その他被服材料	荒木 稔子 助教授
被服学	被服構成及び実習 和裁(和服に関する理論及び実習)	森山 きり 教授
被服学	洋裁	渡辺 かねみ 講師
被服学	日本の被服史	神田 美年子 助教授
被服学	服飾美学の根本的問題	山本 登美子 講師
被服学	繊維及び被服材料の性能	二木 久枝 講師
被服学	各種の色について	手塚 唯聴 助教授
被服学	染料、浸染、捺染についての実験と実習	手塚 唯聴 助教授
被服整理学	洗剤、洗浄理論、漂白、加工について	白取 吉敏 助教授
意匠学		浜崎 弥市 教授
手芸学	基礎と応用	伊藤 澄子 講師
生理学		麻生 久弥 助教授
教育学原理	[教職専門科目]	山本 富佐子 助教授
教育学原理		山住 とし子 助教授
教育学原理		富田 朋介 教授
教育心理学		秦 博 教授
教育心理学		松浦 伯夫 講師
教育心理学		寛田 知義 助教授
教育心理学		橋本 覚勝 助教授
教育心理学		沢田 昭 助教授
教育心理学		荒木 稔子 助教授

教科教育法 保健
教育実習 保健

道徳教育の研究

荒木 稔子 助教授
塩野 緑子 助教授
秦 博 教授
松浦 伯夫 講師
寛田 知義 助教授
松浦 伯夫 講師
秦 博 教授
寛田 知義 助教授

短大新任

助手補 田村 允子 昭和四十二年四月一日付
米田 凱子 昭和四十二年四月十八日付
西村 道子 昭和四十二年四月十八日付
水島 志満子 昭和四十二年六月一日付
安田 光子 昭和四十二年六月一日付
今本 雅美 昭和四十二年六月一日付

教育職員免許状下附状況

学科別	卒業生数	免許状種類(教科別)と取得者数		
		高	中	中
音楽学部	五七	音楽 五五	音楽 五五	
国文科	一〇三			国語 七二
家政科				保健 二八四
被服専攻	一七五			保健 一〇一六
食物専攻	一七四			保健 二八四

栄養士免許証下附

五七名